

市の決算（一般会計）

一般会計では福祉や教育、都市整備など、市の主なお金の出入れをしています。

令和6年度の決算は、歳入から歳出を差し引いた22億3169万円から、令和7年度に繰り越した事業の財源6億5625万円を差し引いた実質収支で、15億7544万円の黒字になりました。

歳入 1352億743万円

令和5年度に比べて、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金などの減により国庫支出金が減ったものの、地方交付税や地方特例交付金が増えたことにより、総額では11億7227万円の増となりました。

歳出 1329億7574万円

令和5年度に比べて、土木費や公債費などが減った一方、総務費や民生費などが増えたことにより、総額では17億4701万円の増となりました。

決算のポイント

● 公共施設の大規模改修

公共施設保有最適化※1・長寿命化※2のため、庁舎や学校、教育文化福祉施設、市営住宅など市の施設の整備、維持・更新に取り組みました。

※1 将来にわたり施設を適切に維持できるよう、限られた財源を効果的に活用し、効率的な施設運営を目指すこと

※2 建物を80年使い続けることを目指し、建設後、おおむね20年目と60年目に修繕、40年目に大規模改修をすること

大規模改修などをした主な施設と決算額

改修の内容	決算額
みたけ地区活動センター大規模改修事業	2億6839万円
山王老人福祉センター外2施設建設事業	2億3712万円
加賀野地区活動センター外2施設複合化・大規模改修事業	2億3580万円
都南図書館長寿命化修繕事業	1億7776万円

● 市債残高の推移

市債残高は1394億9729万円で、令和5年度と比べ4億153万円減少しましたが、人口減少の影響により令和6年度末でみた市民一人当たりの借金は50万5903円で、令和5年度と比べ3411円減少しました。

※参考：人口27万5739人（令和7年3月31日現在。住民基本台帳登録人口（外国人含む））

● 財政指標（財政健全化判断比率）

地方公共団体の財政健全度を判断する4つの指標について、市はいずれも基準を下回り、健全な水準です。

※いずれかの指標が基準を超えると「早期健全化団体」や「財政再生団体」となり、財政健全化のための税金の増額、住民サービスの見直しなどが必要になります

	盛岡市	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字割合	赤字は発生していません	11.25%	20%
②連結実質赤字比率 全ての会計の赤字割合	赤字は発生していません	16.25%	30%
③実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	10.0% (10.3%)	25%	35%
④将来負担比率 将来負担すべき負担の割合	83.0% (75.6%)	350%	

※（ ）内は令和5年度の比率

→ 財政悪化

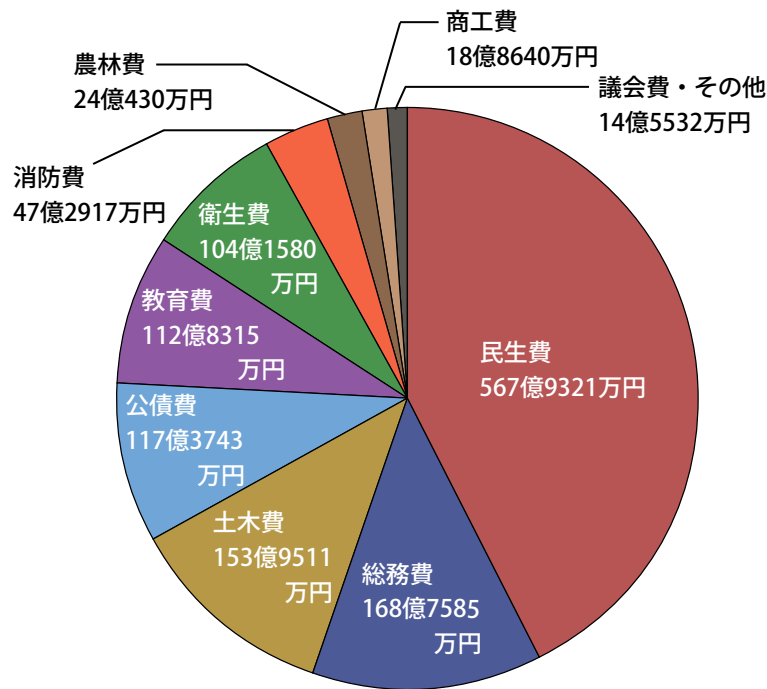
市は、市税や地方交付税などを財源にして予算を編成し、市民生活の向上と快適なまちづくりに取り組んでいます。令和6年度決算がまとまりましたので、概要をお知らせします。

【問】財政課 ☎613-8362

詳しくは、市ホームページをご覧ください



歳出の内訳と主な事業



◆ 民生費 567億9321万円

- 私立保育所や認定こども園などへの運営費支給、公立保育所の運営 128.9億円
- 定額減税差額分の現金支給 21.5億円
- 乳幼児や小・中学生、高校生、妊産婦などへの医療費の支給 11.8億円
- 住民税均等割のみ課税世帯などに対する臨時特別給付金の支給 7.2億円

◆ 総務費 168億7585万円

- 道の駅もりおか浜民「たみっと」の整備 13.5億円
- きたぎんボールパークの管理運営 2.7億円
- 移住・定住・交流人口対策 0.6億円

◆ 土木費 153億9511万円

- 道明、都南中央第三、太田地区の区画整理 12.7億円
- 民間の再開発事業の一部を補助 12.5億円
- 道路の除排雪や除排雪車両の更新など 9.8億円
- 利用しやすい公共交通環境の整備 1.3億円

◆ 公債費 117億3743万円

- 公共施設・インフラの整備などのための市債の返済や利子の支払い

◆ 教育費 112億8315万円

- 老朽化した学校施設の修繕など 16.9億円
- 教育現場のデジタル化推進による教職員の事務負担軽減 2.7億円
- 新たな給食センターの整備に要する費用や用地などの調査 1億円
- 小・中学校の特別教室へのエアコン設置 0.8億円

◆ 衛生費 104億1580万円

- 各種予防接種の実施や予防接種に対する補助など 16.7億円
- 出産・子育て家庭への給付金の支給 1.6億円
- 感染症の診療費や検査など 0.5億円

◆ 消防費 47億2917万円

- 消防ポンプ自動車の更新や消防屯所の建設工事など 1.4億円

◆ 農林費 24億430万円

- 新規就農者などへの補助金の支給 0.2億円
- 市内の森林などを活用する取り組みを行うベンチャー企業などへの森林環境譲与税を活用した補助 0.1億円

◆ 商工費 18億8640万円

- 原油・物価高騰に伴う緊急経済対策など 2.9億円
- 市内中小企業者などへの金融対策支援 2.3億円
- 物流拠点整備に係る道路の各種設計など 0.5億円
- 観光客の誘致・宣伝、宿泊事業者への支援など 0.5億円

上下水道局の決算

水道と下水道のことをもっと知ってほしい！



上下水道事業は、皆さんからの水道料金と下水道使用料を主な財源として運営しています。施設の老朽化により更新費用の増加や、人口減少に伴う料金収入の減少などにより厳しい経営状況にあります。長期的に、安心して上下水道をお使いいただけるよう努めていきます。

【問】上下水道局経営企画課 ☎623-1442

水道事業会計 →

水道料金などの収入
71億6千万円

純利益 (黒字)
11億9千万円

水道管などを整備するための支出
48億4千万円

●過去の借入金の返済
7億5千万円

水道の詳しい決算状況や経営分析は、市上下水道局公式ホームページをご覧ください



教えて！ 下水道あいちゃん

- 下水道のお金はどんなことに使われているの？
- 水道と同じように、地震に強い下水道管に更新したり、下水道管を点検・修理したりするために使っているのよ。
- そうなんだ！ あれ？ 右の図には「借入金」というのがあるね。水道にはなかったけど。
- そうなの。新しい下水道の整備や古くなった下水道管の更新などのために13億5千万円の借金をしたのよ。
- 古くなった下水道管をそのままにしておくとうなるの？
- 下水道管が壊れて、トイレやお風呂などが使えなくなるだけでなく、道路が陥没することもあるのよ。
- テレビで見たことがあるよ。
- 下水道管ってどうやって更新するの？
- 下水道管は道路の下の深いところにあるから、掘って交換すると、お金と時間がたくさんかかるの。なるべくお金がかからないように、下の写真のように、道路を掘らずに管の内側に新たな管を入れる工法で管を生まれ変わらせているのよ。
- いろいろ工夫しているんだね！
- みんなの生活に欠かせない下水道を将来にわたって使い続けられるように、必要なことに取り組んでいるのよ。



下水道管を内側から新しくする様子



下水道の現状について詳しくは、市上下水道局公式ホームページをご覧ください

↓ 下水道事業会計

下水道使用料などの収入
84億2千万円

純利益 (黒字)
2億5千万円

下水を処理するための支出
81億7千万円

借入金
13億5千万円

純利益
2億5千万円

国からの補助金、過去の蓄えなどの一部
35億1千万円

●下水道管などを整備するための支出
23億6千万円

●過去の借入金の返済
27億5千万円



下水道の詳しい決算状況や経営分析は、市上下水道局公式ホームページをご覧ください



新しい下水道管を入れる工事の様子